

<町田おかしの家便り>

「第2回 ザ・リタイアリーズ ミニ コンサート」 9月21日（水）

昨年に続き第2回男声合唱「ザ・リタイアリーズ」のミニコンサートが、町田おかしの家で開催されました。西田美栄子先生の指揮のもと、12人の男性メンバーの他5人の女性メンバー、ピアニストの方がいらして、様々なジャンルの曲を歌って下さいました。テレビで有名な「銭形平次」の主題歌をセリフも交えて楽しく歌って下さったり、西田先生による独唱や、会場全員が参加しての「静かな湖畔」の輪唱、手に花飾りをつけ振りを入れながら歌った「花は咲く」や「手のひらを太陽に」等、とても楽しいアットホームなコンサートとなりました。利用者と職員からは「ドレミの歌」の合奏・聖歌「人生の海の嵐に」のハンドベルの演奏をプレゼントし、最後にザ・リタイアリーズの皆様にお花をお渡ししました。



また、スペシャルゲストとして、西田先生のお嬢様でミュージカル女優でもあられるレミナ・レグシオさんが、ミュージカルナンバーを歌って下さいました。

アンコールでは、「人生の海の嵐に」の曲を利用者のハンドベルに合わせて

植草理事長のソロにはじまって、ザ・リタイアリーズのメン

バーの皆様が力強く合唱して下さい、コンサート終了となりました。



コンサートの感想

Fさん：男性コーラスよかった。	Aさん：良かった。	TNさん：先生とかけ合いの歌、楽しかった。
KKさん：ミュージカルの曲よかった。	Uさん：「糸」よかった。	KUさん：「花は咲く」よかった。
IKさん：「静かな湖畔」よかった。	ITさん：「花は咲く」よかった。	Nさん：「おかしの歌」楽しかった。
Rさん：「手のひらを太陽に」よかった。	MMさん：感動して涙がでた。	MMAさん：「銭形平次」よかった。
Yさん：西田先生、素晴らしかった。	OMさん：良かった。	Hさん：楽しかった。「手のひらを太陽に」
KMさん：ハンドベルもできてよかった。	MAさん：楽しかった。	OYさん：きれいな歌声でびっくりした。
THさん：西田先生の「糸」よかった。	Sさん：良かった。	ONさん：「手のひらを太陽に」

第43回 町田市障がい者スポーツ大会 11月3日（木）

今年も町田市立総合体育館において、第43回障がい者スポーツ大会が行われました。客席からたくさんの暖かい声援を受けながら、利用者みんなで「パン取り競争」、「大玉運び」、「地球ころがし」、「スプーンリレー」の団体競技、「バトミントン」、「ソフトバレー」、「卓球」の個人競技に参加し、汗をながしました。最後に、恒例の「玉入れ・鈴割り」をして、楽しいスポーツ大会の幕を閉じました。



利用者Hさんのご家族が、素敵な写真を撮って下さいました。（載せられなかった沢山の写真は、町田おかしの家に掲示していきます。）本当にありがとうございました。

町田おかしの家で販売しています。

各種の詰合せも承ります。

<プチあんじゅ>

一口サイズの可愛いアンドーナツ (7個入り)



プチあんじゅ
1袋 100円 (55g)



プチあんじゅ
10袋入り 1,200円

<ラスク>

天然酵母パンで作った
おいしいラスク。



天然酵母パン ラスク
180円 (30g)

<和>

<お茶>

緑豊かな静岡で育った茶葉を江戸時代から受け継がれてきた製法で
心に染み入る逸品にしました。



新商品

5袋入り
600円



3種詰合せ2,650円



田河内 粉末緑茶
700円 (50g)



御前崎 煎茶
850円 (100g)



御前崎 上煎茶
1,000円 (100g)

<和>

宮城県産の最高級餅米「みやこがねもち」を使用し、
製造工場の職人が心を込めて丁寧に作りあげました。



12袋入り
1,400円



甘 芋
100円 (30g)



ごま揚げ煎 (醤油)
100円 (30g)



揚げ煎 (塩)
100円 (30g)



アーモンド
100円 (30g)



国 産
100円 (30g)

商品についてのご注文・お問い合わせは、下記までご連絡ください。

住 所 東京都町田市忠生二丁目7番9

事業所名 社会福祉法人愛の鈴「町田おかしの家」

TEL 042 (792) 9773

FAX 042 (792) 9767

町田おかしの家へのご案内

住所 〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9
 電話 042-792-9773
 FAX 042-792-9767
 小田急線・JR横浜線「町田」駅から神奈中バス「小山田桜台行」
 「町田工業高校前」バス下車 徒歩10分

ケアホーム愛の鈴へのご案内

住所 〒194-0038 東京都町田市根岸2-28-14
 電話 042-794-4120・4121
 FAX 042-794-4122
 小田急線・JR横浜線「町田」駅から神奈中バス「野図田車庫行・小山田行・橋本駅行」等
 「下根岸」バス下車 徒歩3分



編集後記

上半期も終わり10月からいよいよ下半期。2016年もあと約2ヶ月。時の流れの早さを感じつつ、「町田おかしの家」では、クリスマスに向けての商品の作業、出荷に追われています。その合間をぬって町田ミュージックフェスティバルの練習も重ねています。今年は12月9日（金）です。是非、町田市民ホールに応援に来ていただけたら嬉しいです。これからますます寒くなりますが、体調に気をつけ、みんなで元気に頑張ります。皆様もお身体ご自愛下さい。（A）

年の瀬も間もなくとなりましたが、今年もさまざまな事がありました。「クリスマス・大晦日でこの一年をリセットして、また来年」とはなかなかならず、来年以降に持ち越す宿題がいっぱいという方もおられると思います。それでも、日々を、季節を、年月を巡って私たちは生涯を歩いていくのですから、その折々に触れつつも悠々と過ごしていきたいものです。スケジュール帳を眺めながらせこましく生活するばかりにならないよう心掛けるのが当面の目標です。（H）



利用者さんのご家族が寄贈して下さいました
みかんの木にたくさん実がなりました！

愛の鈴通信No.43

社会福祉法人愛の鈴

理事長 植草 三樹男

犠牲になることの大切さ

私は昔、曙の人事部長をしていた西屋敷さんのことが気になっています。市川市の菱沼と言う分りにくい所に住んでいます。若いときは頑固で、自分の主張は中々曲げない人でしたが、人集めは必ずやってくれる私にとって大切な人でした。何しろ金の卵と言われた中卒の子を沢山集めてくれていました。あまり笑わない、お説教ばかりする人でした。どちらかと言うと、好かれていない人でした。

今、彼は奥さんを10年ほど前に亡くされ、娘さんも都心のほうに越してしまい、目が見えなくなり、足腰を痛め、一人で不自由な生活をしています。もう80歳を超えて独りぼっちです。鹿児島の人で、毎年さつま揚げを贈ってくれます。その時お礼の電話をするのですが、電話の向こうで話している彼が何時も寂しそうで、人恋しそうでした。

先日、私はお見舞いに行きました。彼はとても喜んでくれ、嬉しそうでした。私もうれしかった。毎年、美味しいさつま揚げを食べるとき「西屋敷さんをお見舞いしなけりゃ」と思っています。でもいそがしい、面倒臭いとあきらめている自分が嫌です。

先日、面倒に思っている自分を犠牲にして何かをすることが、神様が喜ぶことだと学びました。誰かのために自分の時間を犠牲にすることが、愛することだとも書いてありました。「自分を愛するように他の人を愛せよ」ということが、人生で一番大切だと神様は言っています。行く時間がなくとも手紙を書くことができます。メールも書けます。電話もできます。これから誰かのために犠牲を払う人生を過ごしていこうと心に決めました。

編 集
社会福祉法人 愛の鈴

就労継続支援B型 町田おかしの家	共同生活援助 ケアホーム愛の鈴
〒194-0035 東京都町田市忠生 2-7-9	〒194-0038 東京都町田市根岸 2-28-14
TEL 042-792-9773 / FAX 042-792-9767	TEL 042-794-4120・4121 / FAX 042-794-4122
E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp	E-mail care.home@aino-suzu.jp
ホームページ URL http://www.aino-suzu.jp/	